

仕事場で、電気の使用状況をお知らせする時計

SMART CLOCK

電気の使用状況をリアルタイムにモニタリング。

設定した電力の使用上限値に対し、

LEDの色が変化して電気の使用状況をお知らせします。

情報共有で省エネの輪を広げ、毎月の電気の使いすぎを抑えましょう。

現在・単価モード

現在の使用電力量とJEPXが公表した30分ごとの市場単価(約定価格・エリアプライス)をリアルタイムで表示します。

ESシステムで計測した数値を基に演算したもので、あくまでも目安の為、実際の電気料金とは異なる場合があります。

- 分針が12時から6時までの位置にあるとき ▶ [右側 使用電力量 / 左側 市場単価]
- 分針が6時から12時までの位置にあるとき ▶ [右側 市場単価 / 左側 使用電力量]

現在
緑色

【通常通り】

LEDの本数が分針を超えないようにこちら側が現在値(緑、黄、赤のLEDが点灯)を表示

現在
黄色

【注意信号】

LEDが赤へと変化する前に省エネ活動を実施!

現在
赤色

【使いすぎ!】

省エネ活動に優先順位を決めて取組みましょう!



単価
水色

10円未満

単価
橙色

10円以上

単価
赤色

30円以上

生産性をUPするタイミング!

音声案内+有機ELにメッセージと市場単価をお知らせ
「電力取引単価が安い時間帯です。この時間帯に電気を使うことをおすすめします。」

機器の稼働状況を見直して使用電力量をカット!

音声案内+有機ELにメッセージと市場単価をお知らせ
「電力取引単価が高い時間帯です。この時間帯は電気の使用を控えましょう。」

「家庭向け」と「企業向け」で異なる電気料金

わたしたちが家庭で使用する電気は、契約電力以上の量を使うと、安全のためにブレーカーが落ちて、電気が遮断される仕組みになっています。一方で、工場や店舗などのように多くの電気を使う場所では、使用する電力を30分ごとに計測。ブレーカーが落ちることのないよう月間の最大値に合わせて契約電力が変動します。つまり、短時間にまとまった量を使うと、年間の契約電力も高くなり電気料金に大きく影響します。一人ひとりが時間帯や作業内容などに合わせた「上手な電気の使い方」を意識することが、省エネへとつながります。